

競争入札設計図書等に関する回答書

令和8年2月6日

福島県喜多方建設事務所長 杉原 雅人

工 事 番 号	第 2 5 - 4 1 3 5 1 - 0 0 9 8 号
工 事 名	生活基盤緊急改善工事（舗装補修）
質 問 事 項	
<p>1 アスファルト舗装版切断について 舗装版切断工（T 6 0 5 1）は『舗装切断後の面取り作業』と土木工事標準積算基準に記載されています。 舗装切断（S P D 3 2 1）の計上は、不要でしょうかご教示ください。</p> <p>2 建設副産物処理料（排水（汚泥））について 特記仕様書第10章 6 2の汚泥とは、処理種別『切断時汚泥』を採用してよろしいか確認したい。</p> <p>3 切断作業時に発生する排水の数量及び端数処理について （1）処理数量について 当該切断工の日当たり標準作業量は、『2 0 3 m』ですが、算出式は『2 3 0 m』となっていますが、どちらが正しいでしょうかご教示ください。 （2）端数処理について 処理量（t 単位）の端数処理が当該留意事項へ記載がありません。 処理量（m 3 単位）の端数処理を採用してよろしいか確認したい。 また、処理量（t 単位）を算出する際、処理量（m 3 単位）の端数処理前数量を用いて算出してよろしいかご教示ください。</p>	
回 答 事 項	
<p>1 舗装版切断工（T 6 0 5 1）「舗装版切断工（傾斜式道路カッター）」により積算しており、「舗装切断工（S P D 3 2 1）」については、計上不要です。</p> <p>2 お見込みのとおりです。</p> <p>3 （1）「数量総括表の算出根拠」作業日当り標準作業量 2 3 0 m／日については、2 0 3 m／日に訂正いたします。 閲覧図書「kinnuki002」「suuryou」を訂正しましたので、ご確認願います。 （2）端数処理については、小数2位止としており「数量総括表の設計数量」や「本工事費内訳表の数量」で積算しています。 なお、「数量総括表の設計数量と算出根拠」を訂正するとともに、閲覧図書「suuryou」を訂正しましたので、ご確認願います。</p>	